

# 朝倉市観光振興指針

令和2年度～令和5年度



令和2年3月

# 目 次

<b>1. 朝倉市観光振興指針の策定</b>	
(1) 朝倉市観光振興指針策定の経緯 .....	1
(2) 観光指針の位置づけ .....	1
(3) 観光指針の期間 .....	2
(4) 観光指針の内容・方針（ビジョン） .....	2
<b>2. 現状分析</b>	
(1) 朝倉市の概要 .....	4
(2) 朝倉市の主な観光資源 .....	5
【自然・施設】 .....	5
【歴史・文化】 .....	8
【食・フルーツ】 .....	9
【祭り・イベント】 .....	10
【観光施設】 .....	12
(3) 統計からみる観光状況 .....	13
【日本人の旅行市場の概要】 .....	13
【福岡県の状況】 .....	15
【海外観光客状況】 .....	16
【朝倉市の状況】 .....	17
<b>3. 朝倉市観光基本計画の検証</b>	
(1) 計画の概要 .....	20
(2) 成果と検証 .....	20
<b>4. 朝倉市の課題</b> .....	38
<b>5. 朝倉市観光振興指針の基本方針</b>	
(1) テーマの設定 .....	40
(2) ターゲットの設定 .....	40
(3) 基本方針 .....	41
<b>6. 重点プロジェクト</b> .....	43
<b>7. 計画の推進</b> .....	45

# 1. 朝倉市観光振興指針の策定

## (1) 朝倉市観光振興指針策定の経緯

平成 20 年 3 月に策定された「朝倉市観光基本計画」(以下、「観光計画」という。)は、平成 20 年度から平成 29 年度までの 10 年間を期間と定め、観光振興を通じて、さらなる地域活性化を実現するために策定されました。

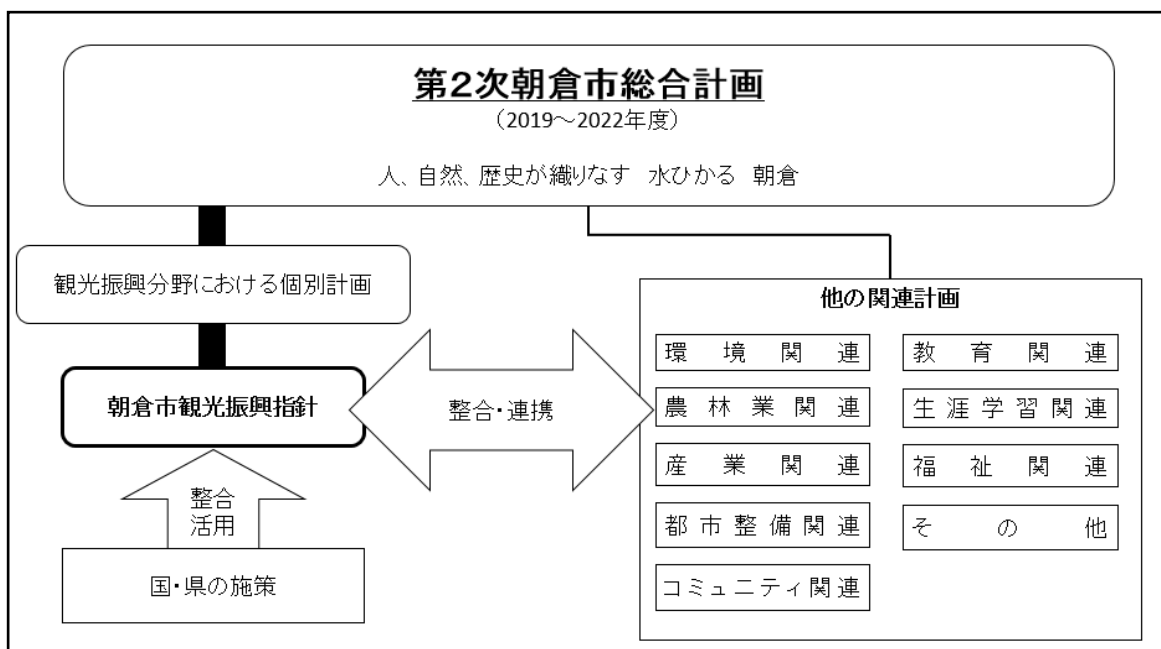
しかしながら、この間、市内外をとりまく環境が大きく変化していることを受け、朝倉市では、新たな観光振興の方針を策定するにあたり、「第 2 次朝倉市総合計画」(以下、「総合計画」という。)に盛り込まれた観光の将来像や施策との整合性を図るため、総合計画(基本構想・基本計画)の下位に位置付けたものとして策定することとなりました。

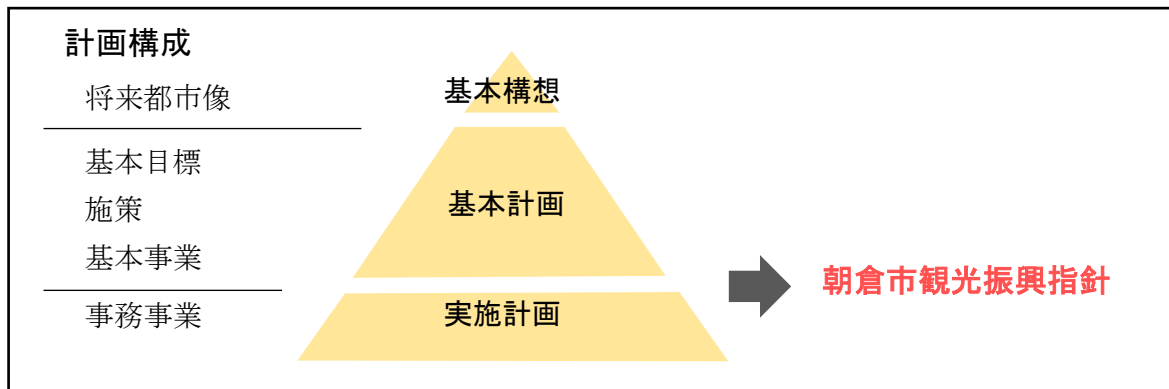
また、この観光振興の方針は「福岡県観光振興指針」にならい、総合計画で掲げる基本目標を、よりとらえ易い将来像及び具体的な施策を盛り込んだ指針として、「朝倉市観光振興指針」(以下「観光指針」という。)を策定します。

## (2) 観光指針の位置づけ

観光指針は、市の最上位に位置する総合計画の個別計画として位置づけます。

また「第 2 次朝倉市総合戦略」との整合性を図ります。さらに横断的に取り組む重点分野として、「朝倉市復興計画」のビジョン『山・水・土、ともに生きる朝倉』の第 2 期の「再生期」に当たることから、基本理念③「地域に活力をもたらす産業・経済の振興」との整合性も図ります。





### (3) 観光指針の期間

観光指針の期間は、令和2年から令和5年までの4年間とします。

観光計画は10年という長い期間であったため、観光を取り巻く社会情勢の変化、例えばインバウンド\*対策、SNS\*対策、FIT\*（海外個人旅行）の増加など年々生じてきている変化に対応できない状況となっていました。

朝倉市の観光指針については、総合計画との整合性を図るため、また社会情勢の変化に柔軟に対応するため、これまでの計画期間である10年を改め対象期間を4年とします。

- \*インバウンド：Inbound、外国人が訪れてくる旅行のこと。ここでは訪日外国人旅行の意。
- \*SNS：Social Networking Service、インターネット上で人と人との交流を手助け・促進するためのサービス。
- \*FIT：Foreign Independent Tour。海外個人旅行、団体旅行やパッケージツアーを利用しない個人の海外旅行。

### (4) 観光指針の内容・方針（ビジョン）

総合計画の基本構想では「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」とあり、分野別の基本目標で「5. 豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興」が掲げられています。更にこの「観光の振興」において4つの基本事業を挙げており、この中の「観光PRの充実」が重点分野となっています。

観光指針は、対象期間内において「観光の振興」を果たしていくために、具体的な取組みを掲げ、業務を遂行し、期間終了後は、継承すべき、または見直すべき取組みの選別を行っていきます。

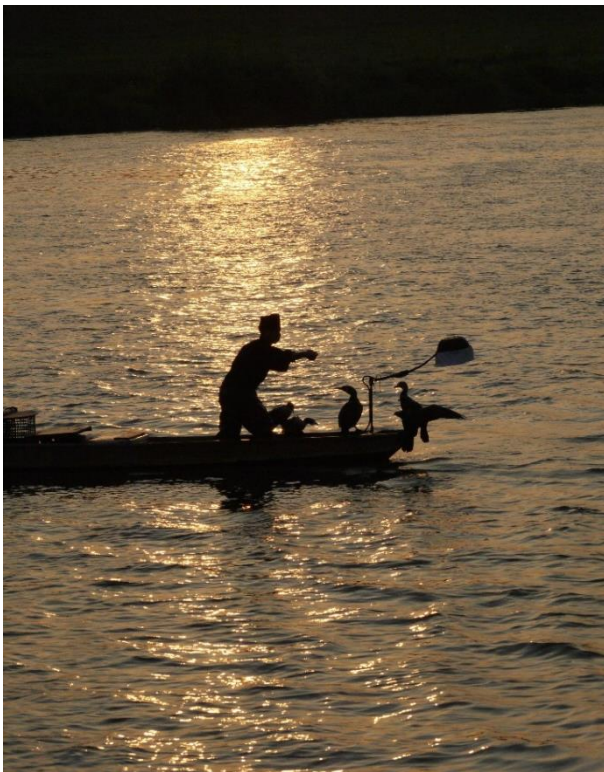
また、近隣市町村や県、国の動向を見定めつつ、朝倉市の観光振興に資する制度の活用を行っていき、SDGs\*や関係人口も注視しながら施策を進めていきます。

- \*SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）。2015年9月の国連サミットにて採択された2016年～2030年までの国際目標で、「持続可能で強靱、誰一人取り残されない経済・社会・環境の統合的向上を目指す」とされている。

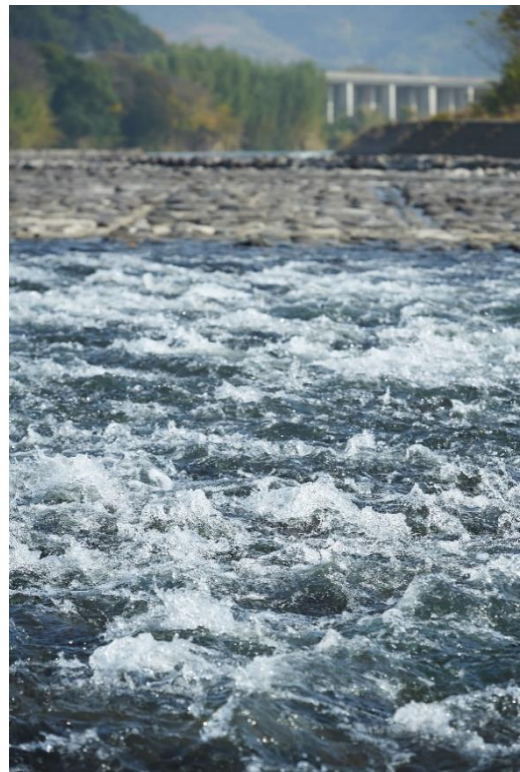
**【参考：国や福岡県の計画策定状況】**

国の各種施策は、東京オリンピックを開催年である令和2年度を目標としているものが多く見受けられます。国（観光庁）の計画である「新たな観光立国推進基本計画」についても、計画最終年度が令和2（2020）年となっている状況です。これは従来、5年計画となっていましたが、東京オリンピックに合わせ、4年計画となっています。

また、福岡県については、「福岡県観光振興指針」を平成29年度に策定し、期間を3年間の平成31年度（令和元年度）としていましたが、「第2次福岡県観光振興指針」については、期間が令和2（2020）年度から令和5（2024）年度の4年間となっています。



筑後川の鵜飼



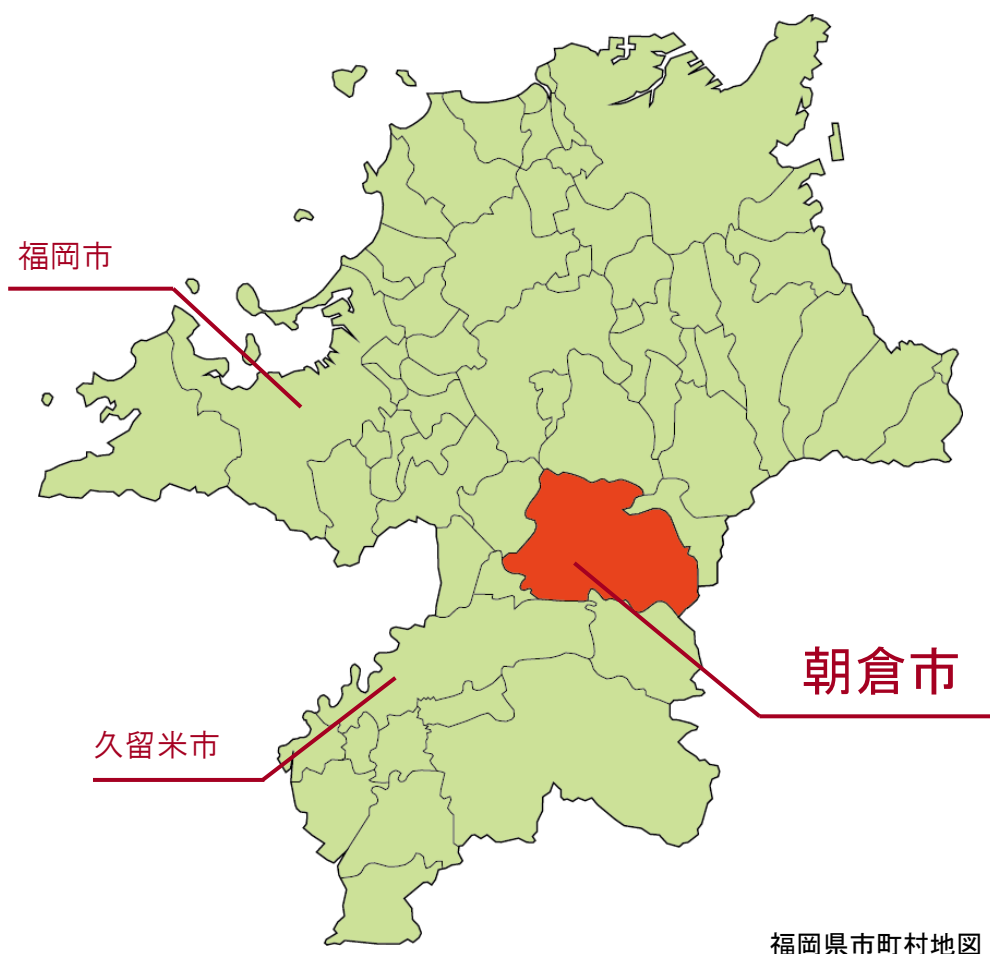
山田堰

## 2. 現状分析

### (1) 朝倉市の概要

朝倉市は、福岡県のほぼ中央部に位置し、福岡市の南東約 30 km、久留米市の北東約 20 kmに位置しています。総面積は 246.71 km<sup>2</sup>で、東西に 22.9 km、南北に 17.4 kmの広がりを持ち、福岡県の面積の約 5%に相当します。市域南部には九州一の大河筑後川が流れ、その支流の水に恵まれた緑豊かなまちです。

また、人口は、52,727 人（令和 2 年 2 月 29 日現在）で、伝統と個性あふれる歴史・文化、多様な観光資源に囲まれ、県内外から多くの観光客が訪れています。



## (2) 朝倉市の主な観光資源

### 【自然・施設】

『甘木公園』の桜・紅葉、秋月地区の『杉の馬場』の桜と『黒門』の紅葉、『原鶴』のひまわり園、『キンビール福岡工場』のコスモスなど、市内各地で季節の花が彩りを添えています。

市北部には、『古処山』を代表とする山々に、『九州自然歩道』が縦走しており、平成30年度には、名前の無い峰に『江川岳』という地名が付けられました。また、『寺内ダム』『江川ダム』に続き、3つ目のダム『小石原川ダム』が完成し、新たな観光資源としての役割が期待され、寺内ダムに隣接する水をテーマとした施設『あまぎ水の文化村』を拠点として、3つのダムとの連携が可能となります。

市東部には、福岡県随一の湧出量を誇り、「ダブル美肌の湯」として知られる『原鶴温泉』があり、さらに温泉地横を流れる筑後川では、県内唯一の『鵜飼』を見ることができます。

市南東部には、平成26年9月「世界かんがい施設遺産」に登録された筑後川から取水する『山田堰』と『堀川用水』、7基の『朝倉の揚水車』があり、福岡県を代表する観光資源となっています。



甘木公園の桜



杉の馬場の桜



黒門の紅葉



原鶴のひまわり園



麒麟ビール福岡工場のコスモス



江川岳の標柱



朝倉市から望む古処連山



上空から望む寺内ダム(左下)、江川ダム(中央)、小石原川ダム(中央右、工事中)





夕月神社の桜



あまぎ水の文化村



原鶴温泉



山田堰



朝倉の三連水車



三島の二連水車



久重の二連水車



堀川用水

## 【歴史・文化】

市北西部に位置する秋月地区は、江戸時代の城下町全体が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定（平成10年4月）されており、『筑前の小京都』として観光客に親しまれています。また平成29年10月には、朝倉市秋月博物館が開館し、秋月藩黒田家ゆかりの宝物や日本画をはじめとする美術品を展示しています。

市南西部には弥生時代の大集落跡である国指定史跡平塚川添遺跡（平成6年5月指定）が歴史公園として整備され、古代から人々が住みやすい地域であったことが遺跡の存在からも窺えます。このことから朝倉市は、邪馬台国の候補地としての説が唱えられており、これを受けて市では観光大使として『女王卑弥呼』が、マスコットキャラクターとして『卑弥呼ちゃん』が活躍しています。

また、この地は百人一首の筆頭歌が詠まれた地域とも言われています。7世紀中頃、当時天皇であった斉明天皇やその子中大兄皇子ら朝廷の中枢が、百済救援のため大和の地を離れ九州に移動してきます。この時、行宮\*として設けた『朝倉橘広庭宮』は、当市にあったという説が有力であり、中大兄皇子がこの朝倉の地に滞在していた際に詠んだというのが、当地での伝承として残っています。

あんぐう  
\* 行宮：天皇行幸の時に置かれる仮の宮、仮宮。



秋月地区の町並み



平塚川添遺跡



マスコットキャラクター「卑弥呼ちゃん」



朝倉橘広庭宮

## 【食・フルーツ】

四季を通して、農産物やフルーツに恵まれた地域で、特に夏から秋にかけては、柿、梨、ブドウ、いちじく、イチゴ、桃などフルーツ狩りも楽しめます。

また、特産品としての『博多万能ねぎ』は、昭和 40 年代に消費地まで空輸するフライト野菜としての先駆けであり、生産量日本一を誇っています。

食については、郷土料理を地域グルメに発展させるため、全国的にも珍しい蒸すタイプのお雑煮である『蒸し雑煮』に着目し、平成 28 年度から市内の飲食店舗において、メニューの提供が始まりました。併せて、気軽に食べることが出来るレトルト商品の開発を行い、お歳暮ギフトや市外のイベントにおいても販売が行われています。

また平成 29 年の九州北部豪雨災害後に開発されたコスモスドレッシングは、被災地で育ったコスモスを材料にして作られており、マスコミにも取り上げられるなど、復興の一助となっています。



柿



梨



ブドウ



いちじく



イチゴ



桃



博多万能ねぎ



筑前朝倉蒸し雑煮

## 【祭り・イベント】

『泥打祭り（阿蘇神社）』『おしろい祭り（大山祇神社）』といった奇祭をはじめ、『バタバタ市（安長寺）』『甘木祇園山笠（須賀神社）』『三奈木おくんち（美奈宜神社）』『蜷城おくんち（美奈宜神社）』『恵蘇八幡宮おくんち（恵蘇八幡宮）』など歴史のある行事・催事があります。

また、伝統行事を復活させた『秋月黒田鎧揃え』や、ランのないトライアスロン『筑後川カップスロン in 原鶴温泉』、『天智天皇杯百人一首朝倉大会』など朝倉市の特長を生かしたイベントの他、新たな市民の祭りとして、農・商・工・市民が集まる『あさくら祭り』や、ビール工場内を周回する『キリンクリテリウム\*』、『あさくらサイクルフェスティバル』といった、自転車によるまちおこしも始まっています。

\*クリテリウム：距離が短いコース（800m～10km）を何度も周回するレース。一般的に町中の道路を封鎖して行われることが多い。



泥打祭り



おしろい祭り



バタバタ市



甘木祇園山笠



三奈木おくんち



蜷城おくんち



恵蘇八幡宮おくんち



秋月黒田鎧揃え



あさくら祭り



キリンクリテリウム



甘木川花火大会



あさくら夏祭り



原鶴温泉花火大会



百人一首大会



カップスロン

## 【観光施設】

朝倉市は観光客を誘致するため、いくつもの施設を所有し管理しています。

### 朝倉市内の観光施設

施設名	設置年
秋月城跡	—
甘木公園	大正 5 年
梅ヶ谷公園	昭和 34 年
甘木歴史資料館	昭和 60 年
鶴飼公園	昭和 63 年
多目的施設・原鶴振興センター（サンライズ杷木）	平成元年
朝倉市観光案内所「ほとめく館」	平成 4 年
木の丸公園	平成 4 年
あまぎ水の文化村	平成 5 年
道の駅原鶴、ファームステーションバサロ	平成 8 年
天然温泉 泉弥呼ロマンの湯	平成 16 年
川の駅原鶴パークゴルフ場	平成 13 年
平塚川添遺跡公園	平成 13 年
三連水車駐車場	平成 18 年（所管替え）
三連水車の里あさくら	平成 20 年
秋月公衆トイレ	平成 23 年
原鶴水辺広場	平成 23 年（改修）
朝倉市秋月博物館	平成 29 年
三連水車周辺園路	令和 2 年（所管替え）
九州自然歩道 ※県から通常管理を受託	—
各種案内板（道案内、施設説明、地図） 外灯（主に原鶴地区内）	—



朝倉市観光案内所「ほとめく館」



川の駅原鶴パークゴルフ場



道の駅原鶴インフォメーション



多目的施設・原鶴振興センター

### (3) 統計からみる観光状況

#### 【日本人の旅行市場の概要】

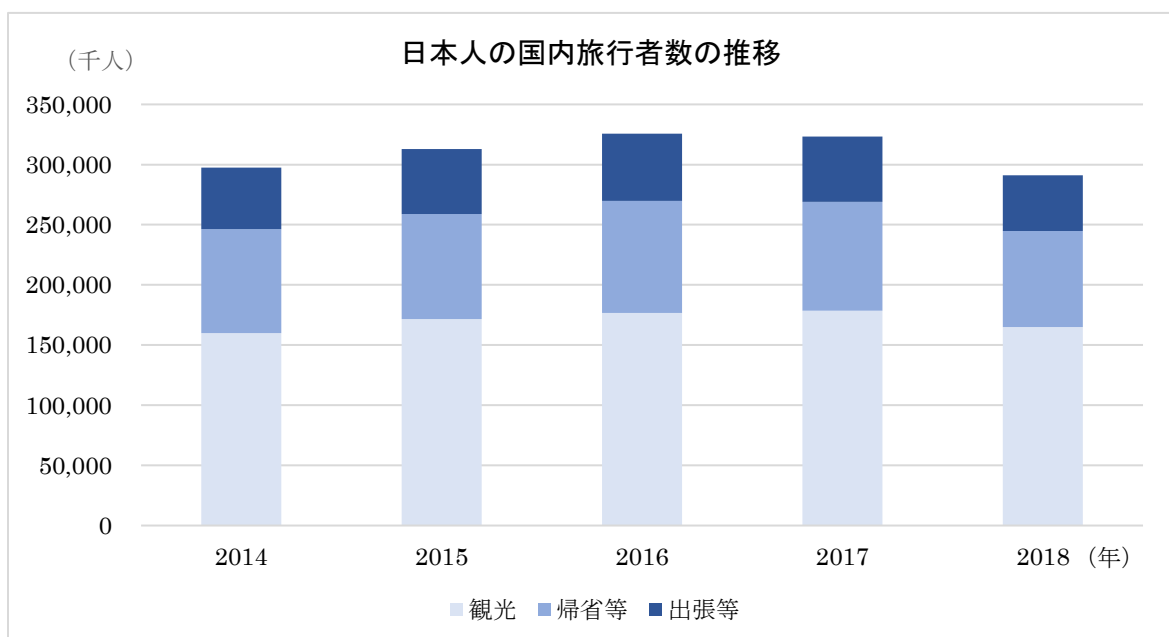
平成 30 (2018) 年の日本人国内延べ旅行者数について、宿泊旅行は、観光庁「旅行・観光消費動向調査」によると、2 億 9,105 万人 (前年比 10.0%減) となっています。また、海外旅行は、法務省「出入国管理統計」及び観光庁「旅行・観光消費動向調査」によると、過去最高の 1,895 万人 (6.0%増) となっています。

#### 日本人の国内旅行における延べ旅行者数の推移

(単位：千人)

	宿泊旅行		観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務	
	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)		
2014年	297,343	△ 7.2	160,026	△ 9.3	86,385	△ 6.9	50,932	△ 0.6
2015年	312,984	5.3	171,689	7.3	87,258	1.0	54,037	6.1
2016年	325,658	4.0	176,670	2.9	93,222	6.8	55,766	3.2
2017年	323,328	△ 0.7	178,615	1.1	90,425	3.0	54,288	△ 2.7
2018年	291,053	△ 10.0	165,010	△ 7.6	79,798	11.8	46,245	△ 14.8

観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに作成



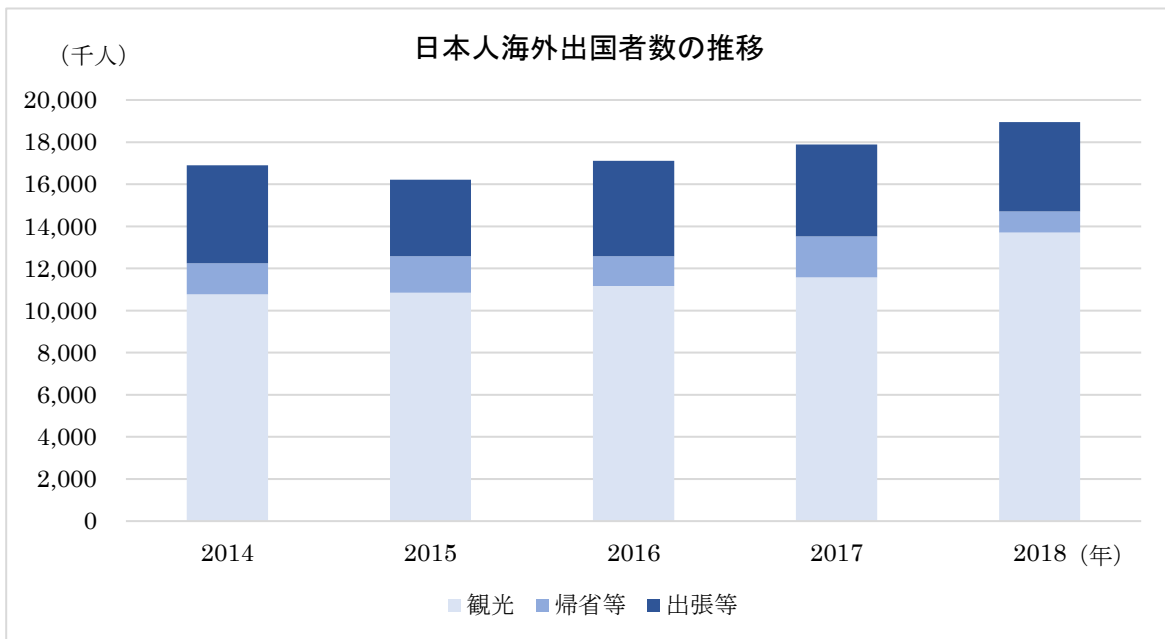
観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに作成

## 日本人海外出国者数の推移

(単位：千人)

	出国者数		観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務	
		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)
2014年	16,904	△ 3.3	10,768	△ 7.1	1,484	△ 14.8	4,652	12.2
2015年	16,214	△ 4.1	10,853	0.8	1,728	16.5	3,633	△ 21.9
2016年	17,116	5.6	11,173	3.0	1,408	△ 18.5	4,535	24.8
2017年	17,889	4.5	11,581	3.6	1,949	38.4	4,359	△ 3.9
2018年	18,954	6.0	13,699	18.3	1,014	△ 48.0	4,241	△ 2.7

法務省「出入国管理統計」及び観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに作成



法務省「出入国管理統計」及び観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに作成

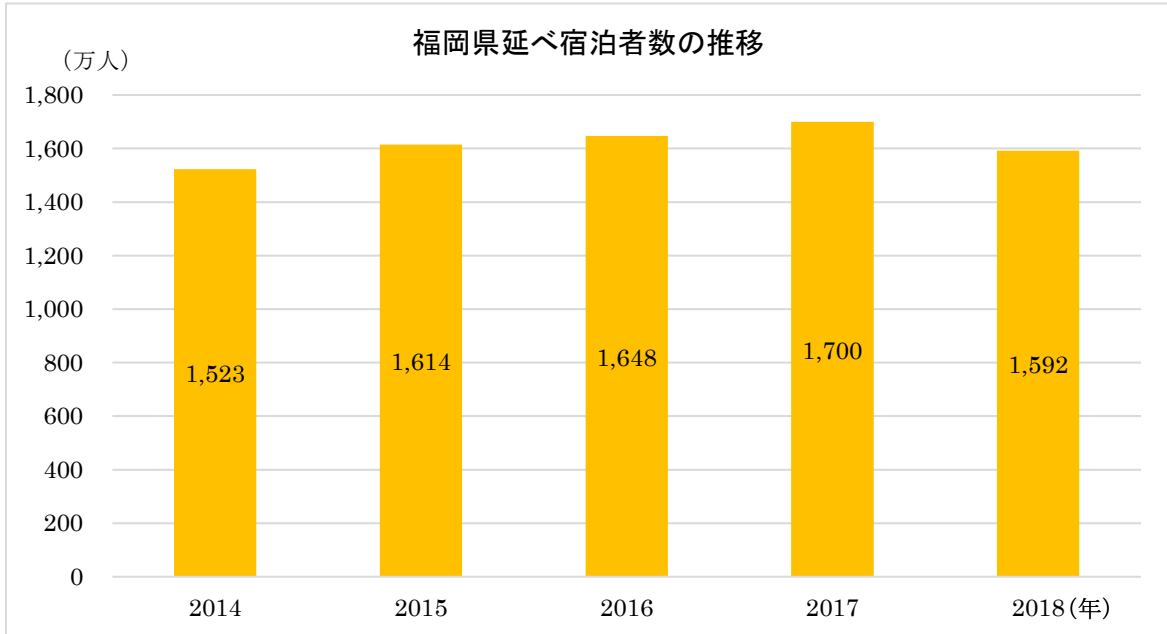




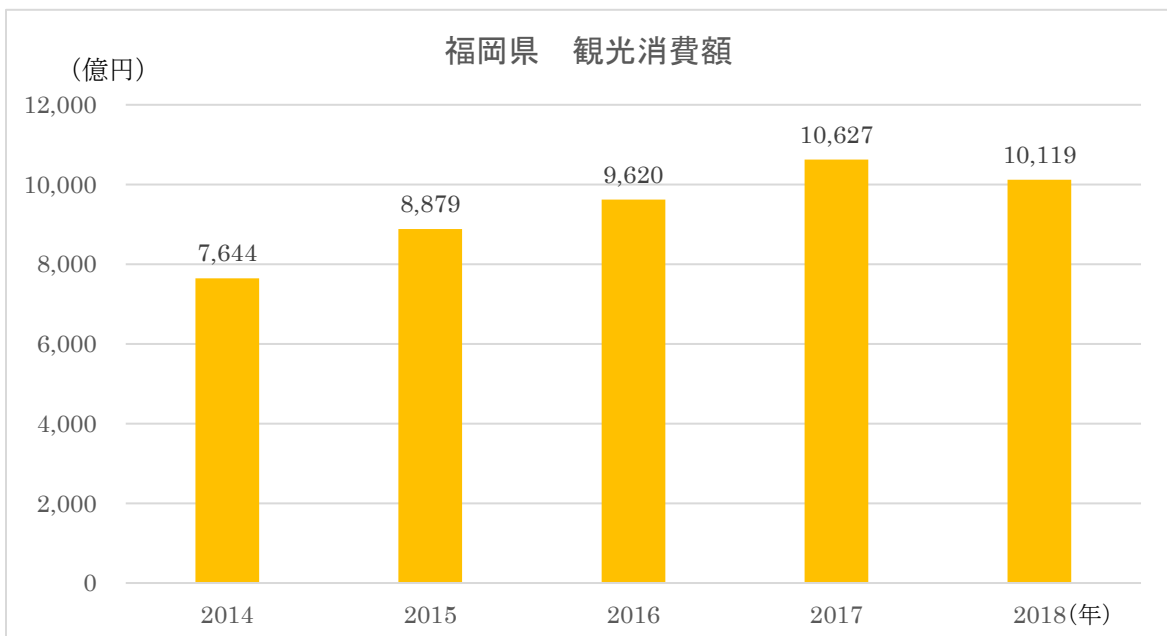
## 【福岡県の状況】

福岡県を対象を絞ると、福岡県の延べ宿泊者数は、平成 30（2018）年において、1,592 万人泊であり、前年比では 6.4%の減少となっています。

また、観光消費額は 1 兆 119 億円であり、前年比では 4.8%の減少となっています。



福岡県観光連盟資料をもとに作成



福岡県観光連盟資料をもとに作成

一方、民間企業の調査では、福岡県の平成 30（2018）年度の延べ宿泊旅行者数のうち、来訪者は九州地方からが 34%、関東地方からが 24%となっています。

また、1回（大人1人）あたりの宿泊旅行の平均費用については、61,000円で、個人旅行が92%、リピーター率が71%を占めています。

（数字は推計、じゃらん宿泊旅行調査2019を参考）

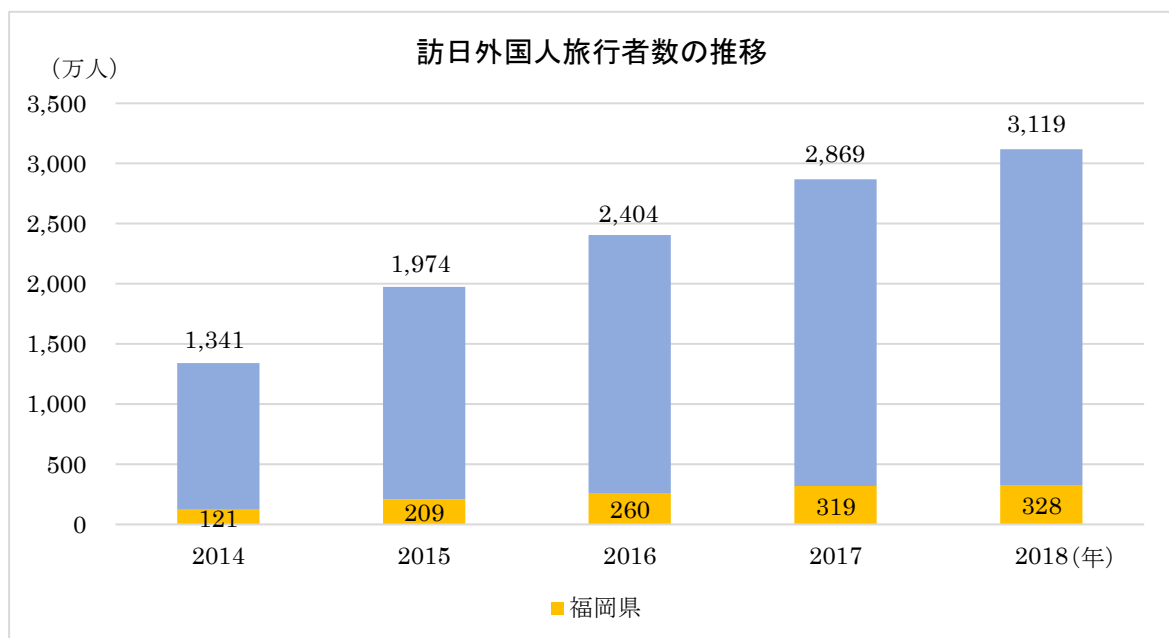
## 【海外観光客状況】

平成30（2018）年の訪日外国人旅行者数は、3,119万人（対前年比8.7%増）となっています。その内訳は、東アジアが2,288万人、欧米豪353万人、東南アジア333万人、その他145万人となっています。

また、平成27（2015）年の「訪日外国人旅行者数（インバウンド）」が「日本人海外旅行者数（アウトバウンド）」を上回り、増加傾向が続いています。旅行消費額についても、4兆5,189億円で過去最高を記録し、対前年増を継続しています。

福岡県の状況は、平成30（2018）年に328万人（対前年度比2.8%増）となっており、国・地域別でみると東アジアからの来訪が多く、特に韓国からの来訪が多いことが分かります。ただ、中国・韓国については、来訪者の動向が政情に左右されることがあり、令和元（2019）年には韓国からの来訪者が大きく減少することが予想されています。

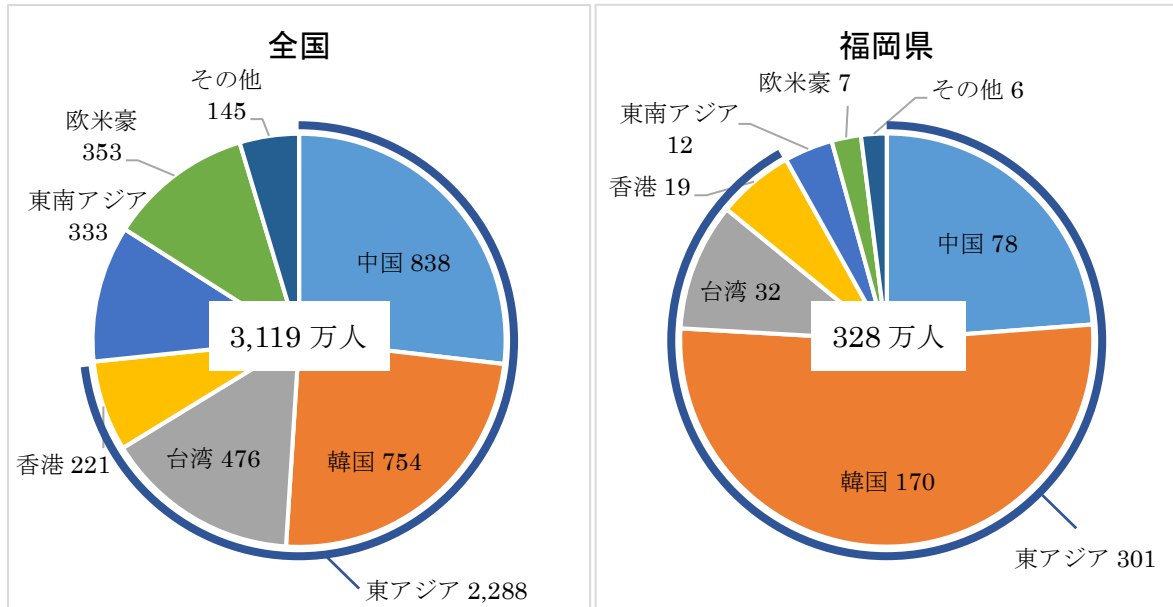
（数字は推計、観光庁「観光白書」、福岡県観光連盟資料から）



観光庁「観光白書」、福岡県観光連盟資料をもとに作成

訪日外国人旅行者の国・地域別内訳（平成 30 年）

（単位：万人）

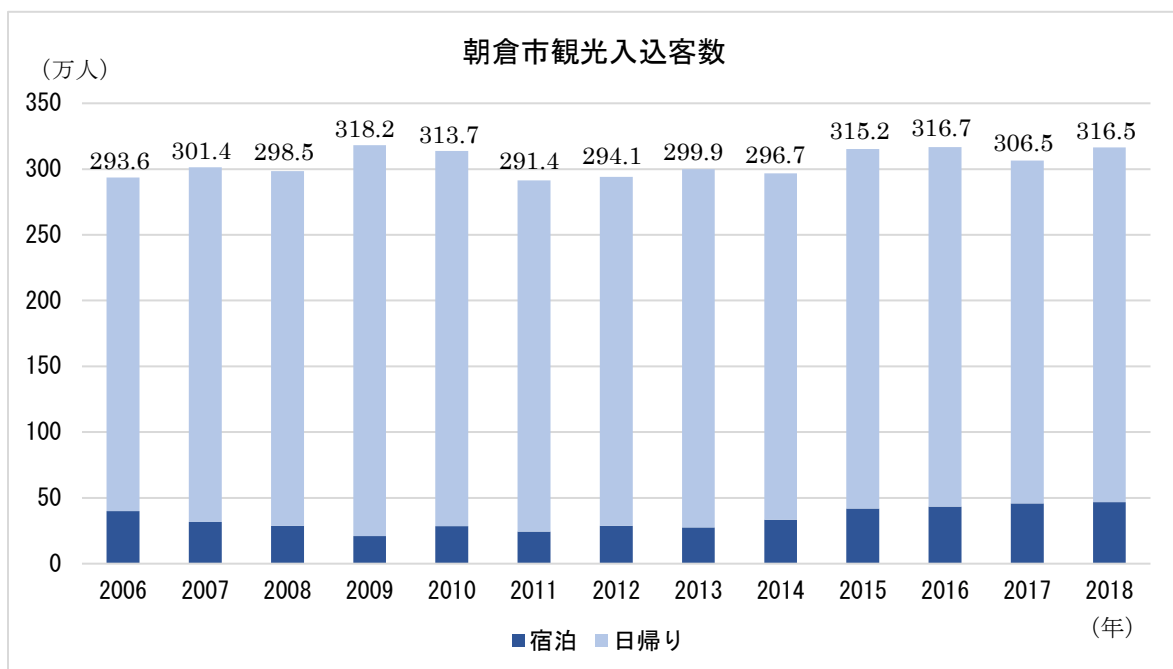


観光庁「観光白書」、福岡県観光連盟資料をもとに作成

【朝倉市の状況】

朝倉市の観光客入込客数は、平成 27（2015）年以降は 310 万人を超え、平成 29 年の九州北部豪雨災害時は約 10 万人の減少はみられたものの、平成 30 年には 316.5 万人と災害前までの状況に回復してきました。

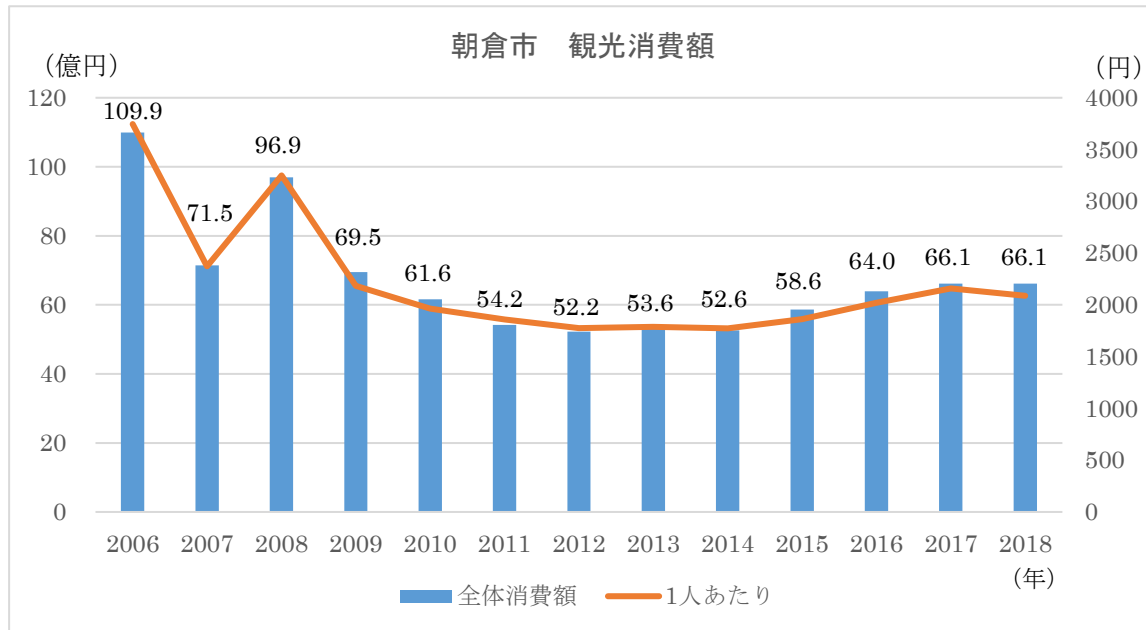
ただ全体的に見れば、概ね横ばいの状態が続いています。



朝倉市「観光客入込客調査」をもとに作成

また、朝倉市の観光消費額の推移は、平成 18（2006）年に約 110 億円を記録して以降、平成 24（2012）年まで減少を続け、その後わずかながら上昇に転じ平成 30（2018）年には約 66 億円まで回復してきています。

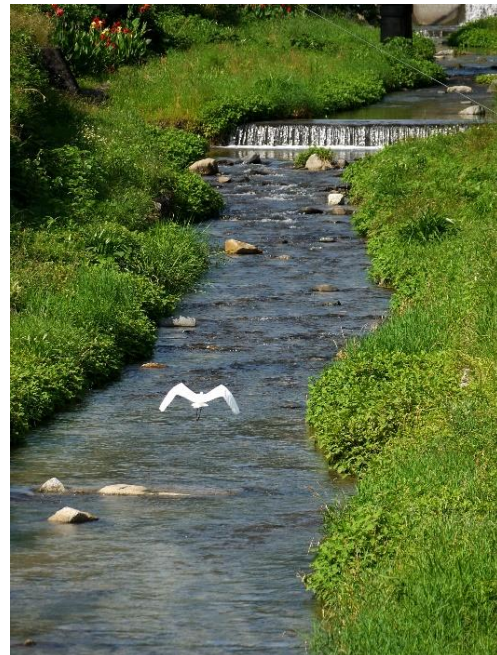
1 人あたりの消費額も全消費額に連動し、平成 18（2006）年の 3,746 円/人をピークに平成 26（2014）年が 1,773 円/人、その後わずかに回復して平成 30（2018）年には 2,089 円/人となっています。



朝倉市「観光客入込客調査」をもとに作成

また、RESAS（地域経済分析システム）では以下の状況となっています。

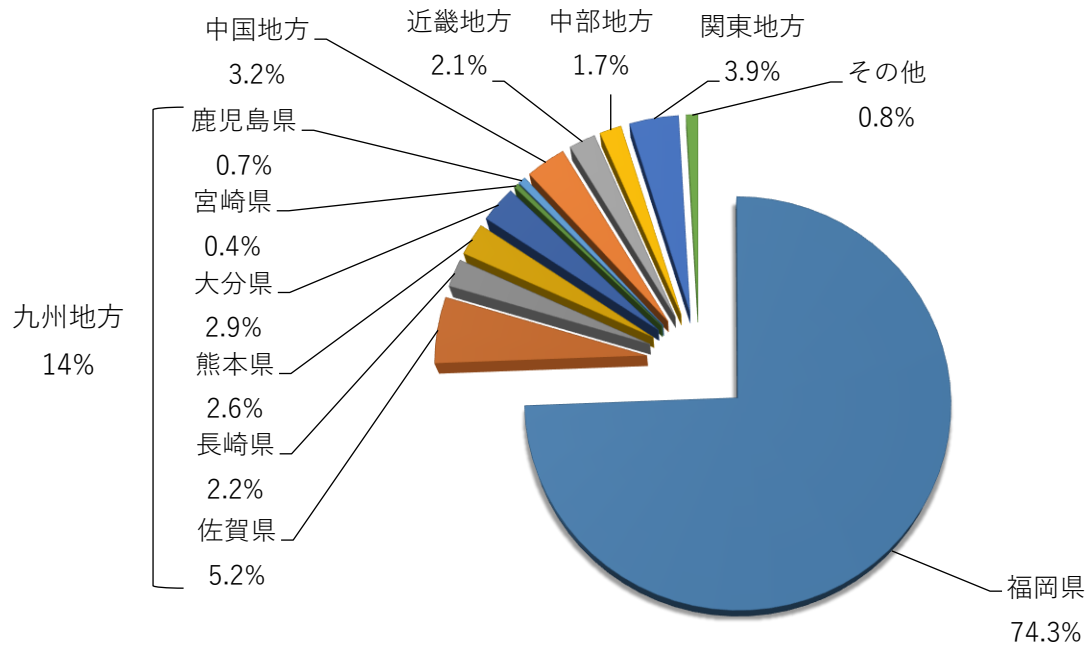
- ① 検索回数ランキング（2017年）  
「秋月城跡」「原鶴温泉」「キリンビール福岡工場」「泰泉閣」
- ② 流入者数ランキング（2017年）  
「福岡県」「大分県」「熊本県」「長崎県」「佐賀県」「山口県」「広島県」
- ③ 国別外国人訪問ランキング（2017年）  
「大韓民国」「台湾」「香港」「中華人民共和国」「タイ」「アメリカ合衆国」



さらに平成 27 年度に行ったアンケート調査では、日本人旅行者の市内宿泊状況を見ると、県内からの旅行者が 7 割を占めており、年齢別割合では 60 代以上が 7 割を超えている状況が窺えます。

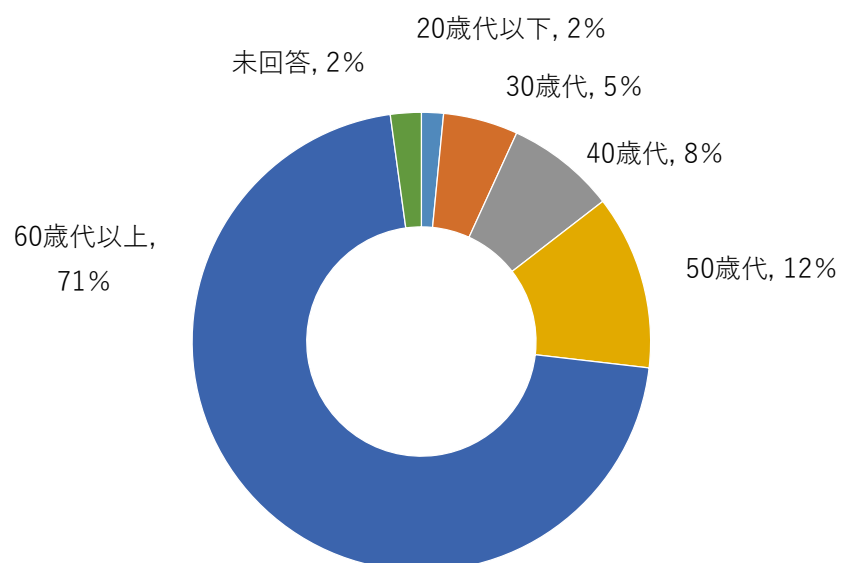
このデータは宿泊者のみに行われたアンケート調査によるため、日帰り観光客では若年世代の割合が若干は増加するものと思われませんが、概ね同様の状況になると考えられます。

国内旅行者の出発地別割合



朝倉市「ふるさと宿泊助成事業」アンケートより作成

国内旅行者の年齢別割合



朝倉市「ふるさと宿泊助成事業」アンケートより作成

### 3. 朝倉市観光基本計画の検証

#### (1) 計画の概要

平成 20 年 3 月策定の観光計画では、目指すべき将来像を「“だんだん”あさくら物語」とし、基本的な考え方として以下の 3 つを設定しました。

- 「感」あさくら … 水・緑・空気を感じる観光振興
- 「楽」あさくら … 多彩な歴史・文化を楽しむ観光振興
- 「味」あさくら … 食と農・温泉を味わう観光振興

この基本的な考えの下、具体的な取組みとして、以下の 5 項目を設定していました。

- 項目 1 観光資源の活用
- 項目 2 おもてなしの仕組みづくり
- 項目 3 情報発信の充実
- 項目 4 観光客に配慮した環境づくり
- 項目 5 観光振興の体制づくり

#### (2) 成果と検証

目標数値であった平成 29 年度までに観光入込客数 350 万人の達成はできなかったものの、観光計画策定時の平成 18 年の 294 万人から、平成 30 年には 22 万人増の 316 万人まで伸ばすことができました。

#### 項目 1 観光資源の活用

##### 1-1 観光資源の創出

###### 古都・秋月雑めぐり

既存の資源である城下町秋月、秋月城跡を活用して、閑散期に賑わいを創出し、併せてインバウンド向けに響く観光資源とすることを目指したイベントです。平成 27 年度から実施しており、期間中参加店舗をめぐるスタンプラリーも行いました。

秋月城跡屋外展示 来訪者集計

開催年度	来場者総数
平成 27 年度 (2/26~3/3)	3,200 人 (実働 6 日間)
平成 28 年度 (2/25~3/5)	6,911 人 (実働 9 日間)
平成 29 年度 (2/24~3/4)	6,797 人 (実働 8 日間)
平成 30 年度 (2/22~3/3)	5,741 人 (実働 8 日間、最終日が雨天)
令和元年度 (2/8~3/3)	11,344 人 (実働 7 日間)

以上の状況から、6,000 人を超える新たな来訪者の獲得ができており、閑散期の賑

わい創出に結び付いていると判断できます。ただ、インバウンド向け情報発信としてはいまだ弱いと考えられ、九州のひなまつり広域振興協議会や九州観光推進機構の「ひなの国九州」の海外PRなどとの連携も検討していきます。

## サイクリングイベント

観光資源が広い市域に点在し、移動手段に乏しいというデメリットを活かして、ゆっくりと市内観光する機会の創出を目指したイベントを実施しました。

### ●あさくらサイクルフェスティバル

福岡県サイクリング協会が実施する「福岡センチュリーラン」を、平成 28 年度から誘致し、原鶴分水路を発着地として開催しました。翌 29 年度からはマウンテンバイク\*3 時間耐久レース、ママチャリレースなども取り込んだ複合イベントとして実施しました。

\* マウンテンバイク：一般的な自転車では走行困難な未舗装路などを走るための自転車。

#### あさくらサイクルフェスティバル 参加者集計

開催年度	来場者総数
平成 28 年度 (8/28)	320 人
平成 29 年度 (3/11)	2,000 人
平成 30 年度 (3/17)	3,000 人
令和元年度 (3/8)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止



古都・秋月雛めぐり



あさくらサイクルフェスティバル

### ●キリンクリテリウム

通常、一般の立ち入りが禁止されているキリンビール福岡工場内で行う、全国的にも珍しいサイクリング競技です。復興支援を機に平成 29 年度から実施しました。

#### キリンクリテリウム 参加者集計

開催年度	来場者総数
平成 29 年度 (3/11)	120 人
平成 30 年度 (3/17)	1,000 人 ※リレーマラソンを追加

令和元年度（4/13）	1,600人
-------------	--------

以上の状況や、平時にサイクリストを見かける機会が増えていることから、朝倉地域がサイクリストに走りやすい地域であること、他とは違う特徴的なイベントを行っている地域であることなどが、認知され始めており、イベント時の来場者のみならず、平時の来訪者増に結び付いていると判断できます。

## 1-2 イメージづくりの推進

### 商品開発

朝倉という単語から抱くイメージをつくり出すための、商品開発を行いました。販売の他、ふるさと納税返礼品やイベント時等のノベルティとして有効な商品となっています。

#### ●原鶴温泉化粧水「つる姫」

原鶴温泉水とオーガニック\*ハーブを使用した化粧水です。平成27年9月の「女性セブン」においては、「ふるさと納税ベストコスメ スキンケア部門」で第2位を獲得しました。また、平成27年以降は、年間で約1,000本の販売実績がありました。

\*オーガニック：農薬や化学肥料を使わずに栽培された農産物。

#### ●筑前朝倉蒸し雑煮

朝倉地域に残る伝統的な雑煮を、郷土料理として育成しており、平成28年からは筑前町・東峰村との共同事業として取り組みました。参加店舗は、18店（うち朝倉市内12店、令和元年11月現在）となっています。

レトルト商品も開発（約1,000個/年）し、大手百貨店のお歳暮商品にも採用されました。

平成30年8月にはロゴマークの商標を登録しました。さらに、令和元年11月には、地域団体商標登録をしている指宿鯉節との連携により、レトルト商品の改良を行いました。



筑前朝倉蒸し雑煮（飲食店提供例）



レトルト商品



以上については、固定客もついてきており、徐々にではありますが知名度も向上してきていることから、継続して知名度向上・販路拡大に努めていきます。

### 1-3 体験・学習型観光の推進

#### 体験学習ブック

市内で活動可能な体験メニューを紹介しました。



平成 26 年



平成 28 年

#### フルーツマップ

市内のフルーツ狩り事業所を紹介するマップです。「朝倉フルーツマップ 朝倉果実」を平成 28 年度に作成しました。

体験学習ブックについては十分に周知・活用ができていない状況です。

フルーツマップについては利用者から好評を得ており、今後も記載内容の更新を図っていきます。

### 1-4 観光産業の振興

#### ふるさと宿泊助成事業

観光客が市内宿泊の際、その宿泊費用の一部を割引する事業（地方創生事業）です。市内宿泊施設 17 事業所が登録し、平成 27 年 8 月から 12 月での期間で、延べ 9,200 人が利用しました。

1 割程度が新規の宿泊客であったことや、平成 27 年度の入込客数が大きく増加したことなど、新たな観光客の掘り起こしに効果がみられました。

## 項目2 おもてなしの仕組みづくり

### 2-1 市民意識の醸成・市民参加の促進

#### ボランティアガイドの交流

市内にある二つのボランティアガイドグループ（秋月地区・朝倉地区）の交流を促し、相互の研修などが進みました。

#### 市民祭り

朝倉市を域外に PR していくため、市民参加型のイベントとして合併前より開催してきました。平成 27 年度より、名称を「あさくらにぎわっ祭」に変更しました。

#### 市民祭り 参加者集計

開催年度	来場者総数	会場
平成 20 年度 (5/11～6/1)	58,700 人	会場：サンライズ杷木～三連水車の里～原鶴～平塚公園～甘木町～秋月
平成 21 年度 (5/9～10)	30,000 人	甘木公園
平成 22 年度 (5/8～9)	30,000 人	甘木公園
平成 23 年度 (5/7～8)	30,000 人	甘木公園
平成 24 年度 (5/12～13)	30,000 人	甘木公園
平成 25 年度 (5/11～12)	30,000 人	甘木公園
平成 26 年度 (5/10～11)	35,000 人	甘木公園
平成 27 年度 (5/30～31)	20,000 人	サンライズ杷木
平成 28 年度 (5/14～15)	27,000 人	朝倉支所周辺
平成 29 年度 (5/13～14)	31,000 人	甘木公園

平成 26 年以降、市民祭りの在り方について検討を行い、祭りの目的を市民の交流に置いた上で、平成 27 年度から杷木地域・朝倉地域・甘木地域と会場を移して検証を行いました。

その結果、市民祭りと農業祭を統合すべきとの結論に達しましたが、平成 29 年度の災害のため、平成 30 年度は復興をテーマとした祭りを開催し、令和元年度に新たに統合した「あさくら祭り」を開催しました。「あさくら祭り」は災害から立ち上がる朝倉市の元気を域外に発信し、来訪者増を狙おうという目的で開催しています。



花の邪馬台国まつり



あさくら祭り

## 2-2 人材育成

### 新規採用職員への研修強化

平成 28 年以降、市役所の新規採用職員に対し、従来の座学研修から、主要な観光地の視察等を取り入れ、自治体職員として地元の観光ポイントを紹介できるように研修を強化しました。

さらに、福岡市で開催される「博多どんたく港まつり」のパレードに例年参加していますが、このパレード出演も研修の一環として位置づけ、観光 PR の重要性を実感できる体験を提供してきました。

## 2-3 交流人口の増加

### 福岡女学院大学との連携

平成 24 年 5 月に観光分野における連携協定を締結しました。若い世代目線による観光資源の発掘や、観光情報の発信を行ってきました。

福岡女学院大学との連携による取組み

実施年度	主な取組み内容
平成 24 年度	『朝倉案内しまっぷ』作成
平成 25 年度	原鶴地域でアンケート調査実施
平成 26 年度	事業未実施
平成 27 年度	『女子旅あさくら』作成
平成 28 年度	『あさくらの旅』作成
平成 29 年度	WEB サイト「コネクト朝倉」「あさぐらむ」作成 インターンシップ*受入 (8 名)
平成 30 年度	『Asakura Trip』作成 インターンシップ受入 (6 名)
令和元年度	福岡女学院大学内での朝倉 PR (常設コーナー、オープンキャンパス等) インターンシップ受入 (12 名)

学生目線で作成された冊子には、若い世代向けの観光ルートが提案されており、イベント時に配布する際に非常に高評価を受けています。

また、平成 29 年度から受け入れているインターンシップは、活動内容を大学のホームページで紹介され、学内での朝倉市の認知度向上に大きく寄与しています。

\*インターンシップ：学生が在学中に就業体験を行う制度。



福岡女学院大学校内の朝倉市 PR コーナー



観光パンフレット

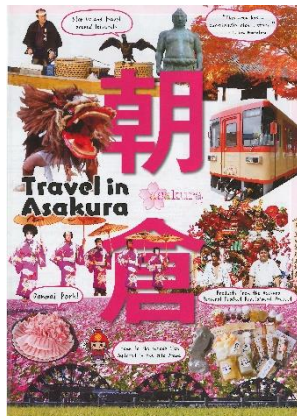
## 2-4 外国人観光客来訪の促進

### 受入環境の整備

外国人観光客が訪れやすい環境の整備として、外国語版パンフレットの製作や、無料 Wi-Fi\*拠点の整備を行いました。

\*Wi-Fi: 無線通信に関する登録商標。無線通信を利用してインターネットが利用できるシステムのこと。

### ●外国語版観光パンフレットの作成



英語版（平成 27 年度製作）



繁体字版（平成 29 年度製作）

### ●外国語観光アプリへの記事掲載

平成 27 年度に、「Japan Travel Guide」へ記事掲載を行いました。

### ●無料 Wi-Fi 拠点整備（全 7 ヶ所）

以下の場所に、無料 Wi-Fi 拠点を整備しました。

また、朝倉市観光パンフレット「めぐりっと」には、これら 7 ヶ所以外にも Wi-Fi が利用できる場所を図示しました。

## 無料 Wi-Fi 整備場所

実施年度	整備場所
平成 29 年度	秋月城跡（梅園公園トイレ）、秋月郷土館、三連水車の里あさくら、道の駅原鶴ファームステーションバサロ
平成 30 年度	甘木公園（藤棚付近）、原鶴水辺公園、秋月駐車場、秋月博物館（郷土館から移設）

## 海外情報発信

国外でのイベントの実施や、外国からのブロガー\*の招聘を行いました。

\*ブロガー：日記や記録、情報を Web（インターネット）上で公開する人。

### ●ブロガー招聘

平成 29 年度にうきは市と連携し、台湾からブロガーを招聘しました。

### ●国外でのイベント

平成 29 年度から平成 30 年度にかけて、以下のとおり国外でのイベントを実施してきました。

## 国外でのイベント

実施年度	主な取り組み内容
平成 29 年度	台湾台北市でのワークショップ*、蒸し雑煮の紹介
平成 30 年度	タイ・アユタヤ市での柿の試食 PR 筑前あさくら農業協同組合、日本航空株式会社、RKB 毎日放送との連携事業

平成 29 年の台北市での事業後に、秋月地区において、台湾からの来訪者が蒸し雑煮を注文する例が見られたものの、外国人観光客向けの事業は、継続して行うことができておらず、その効果が計れていません。

\*ワークショップ：芸術など様々な分野の技術を学ぶ集まりや口座のこと。



台北市でのイベント



アユタヤ市でのイベント

## 項目3 情報発信の充実

### 3-1 情報提供の促進

#### ホームページの充実

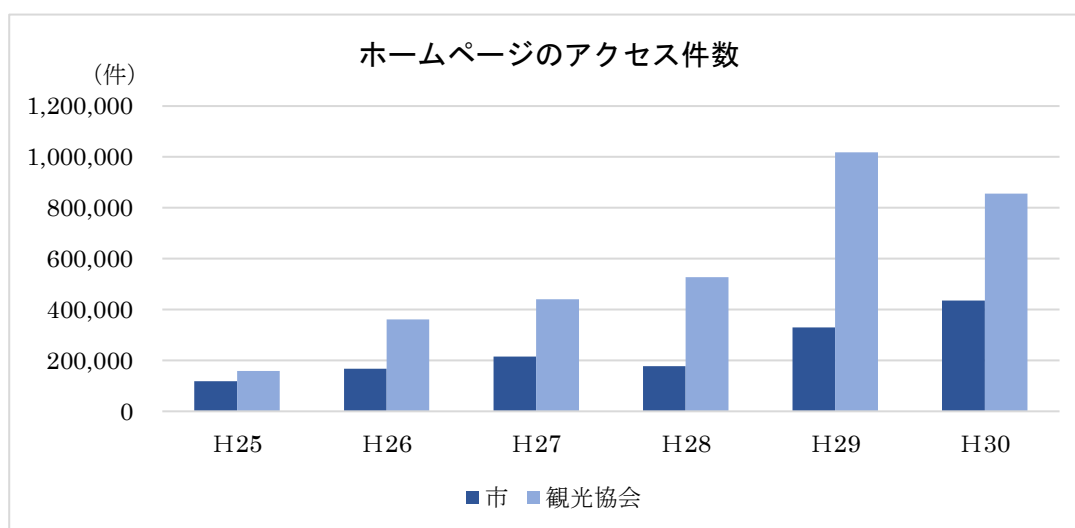
市のホームページの他、あさくら観光協会のホームページの更新についても随時指導してきました。

市のホームページアクセス件数で、平成25年度から平成30年度までに3.67倍、観光協会では5.41倍と大幅に増加しています。

これは情報発信に努めた成果が表れているものと判断しています。

アクセス件数の推移

実施年度	朝倉市	あさくら観光協会
平成25年度	118,358件	158,158件
平成26年度	168,057件	361,740件
平成27年度	215,820件	440,713件
平成28年度	177,997件	526,838件
平成29年度	329,772件	1,018,364件
平成30年度	435,330件	856,357件

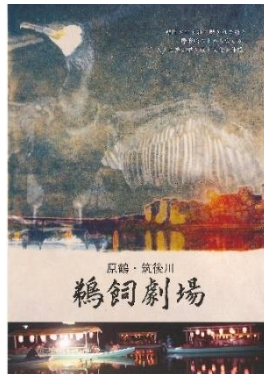


### 観光マップ等の作成

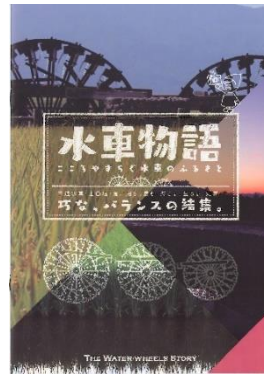
朝倉市が作成する観光マップも、常に情報の更新を行い、観光客が読み易い紙面を工夫しながら作成しました。



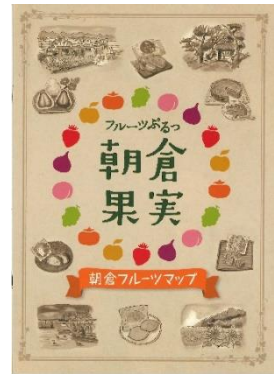
「めぐりっと」



「鶴飼劇場」



「水車物語」



「朝倉果実」

### 3-2 観光プロモーションの推進

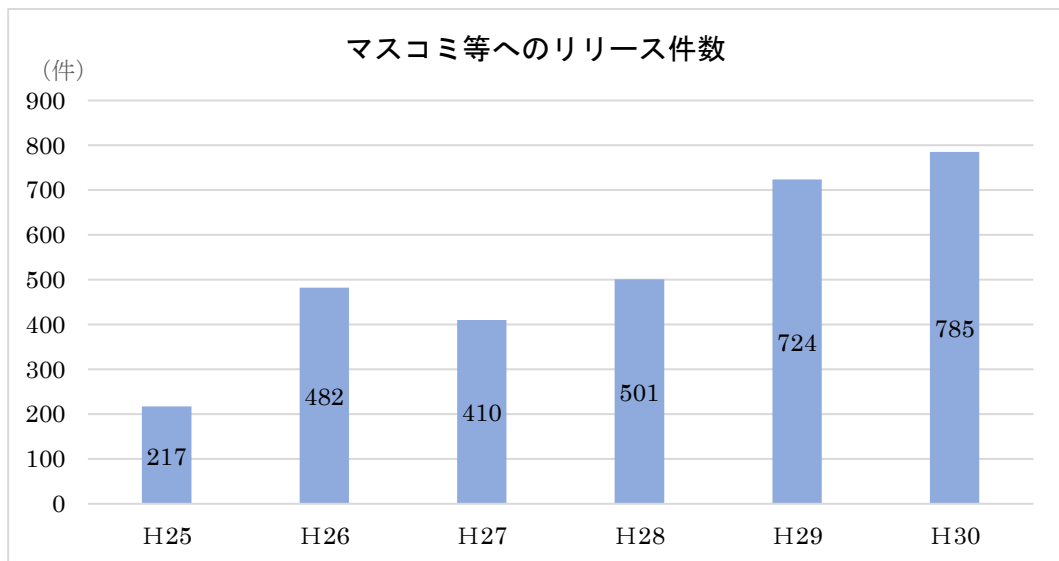
#### マスコミ等へのリリース

ホームページへの掲載以外に、マスコミ等への情報発信にも努めてきました。

ホームページのアクセス件数同様、平成 25 年度から平成 30 年度までに 3.61 倍と大きく増加しています。

マスコミ等への情報発信件数の推移

実施年度	情報発信件数
平成 25 年度	217 件
平成 26 年度	482 件
平成 27 年度	410 件
平成 28 年度	501 件
平成 29 年度	724 件
平成 30 年度	785 件



## 親善大使の任命

知名度向上による市外からの支援を図るため、親善大使を任命しました。

親善大使へは市報の送付、名刺の作成などを行い、朝倉市の知名度向上に寄与していただいておりますが、効果的な活用までには至っていません。

### 親善大使

実施年度	任命した親善大使
平成 20 年度	根本郁芳氏（根本特殊化学株式会社 会長） 内田健彦氏（ニッポー株式会社 会長）
平成 30 年度	玉鷲一朗氏（関取、片男波部屋） 井本勝幸氏（日本ミャンマー未来会議代表、日本経済大学特命教授） 安本美典氏（『季刊邪馬台国』編集顧問、元産業能率大学教授）

## シティセールス

他市町村で行われるイベントへ出展し、PR 活動を行う他、民間各誌への広告掲載等を行ってきました。

### ●市外イベントでの PR 活動

定例のイベントとしては、博多どんたく港まつり（福岡市、5 月）、筑後川のめぐみフェスティバル（福岡市、10 月）、寅さんサミット（東京都葛飾区、11 月、平成 29 年度から）があります。このほかにも、様々なイベントに出店してきました。

各地のイベントでの露出により、知名度向上に役立っていると考えています。

### 出展イベント等実績

実施年度	件数
平成 26 年度	14 件
平成 27 年度	12 件
平成 28 年度	15 件
平成 29 年度	55 件
平成 30 年度	79 件



博多どんたく港まつり



筑後川のめぐみフェスティバル



## ● 広告掲載

掲載料のかからない媒体への情報発信を行いながら、知名度向上・来訪者増が見込める媒体には、広告を掲載してきました。

『まるっと朝倉・うきは』については、特に好評で第1版は当初の予定よりも早く完売したことから、第2版が出版されるといった状況が見られ、十分な効果があったと考えられます。『ことりっぷ』については、平成29年の豪雨災害と重なったため、十分な効果が見られませんでした。

### 雑誌等への広告掲載

実施年月	掲載先	発行部数
平成24年9月	『西日本新聞』	—
平成25年12月	NHK公式ブック『軍師官兵衛』	—
平成27年9月	『まるっと朝倉・うきは』	30,000部
平成29年3月	『道の駅旅案内』春・夏号	—
平成29年9月	『ことりっぷ』秋号	80,000部（抜刷5,000部）
平成30年3月	『まるっと朝倉・うきは』改訂版	30,000部
平成30年3月	『西日本新聞』	—
平成29年、平成30年	『わおマップ』	20,000部



広告掲載冊子（『まるっと朝倉・うきは』、『ことりっぷ』）

## 項目4 観光客に配慮した環境づくり

### 4-1 環境・景観の保全

#### 観光施設の維持管理

施設の改修や通常管理としての除草、清掃などを行ってきました。

#### 観光施設の維持管理内容

実施年度	主な取り組み内容
平成21年度	秋月キャンプ場解体撤去
平成23年度	サンライズ杷木外壁屋根修理
平成24年度	秋葉公園災害復旧、サンライズ杷木トイレ改修・空調設備改修、杉の馬場桜診断
平成25年度	サンライズ杷木キュービクル取替・舞台照明取替、杉の馬場桜治療
平成26年度	大分自動車道志波トンネル前看板改修、サンライズ杷木給水加圧ポンプ取替、原鶴地区防犯灯改修
平成27年度	道の駅原鶴非常用太陽光蓄電装置設置（県事業）、サンライズ杷木受水槽改修・舞台袖操作パネル取替、原鶴鶴飼公園藤棚災害復旧、道の駅原鶴トイレ改修（県事業）
平成28年度	道の駅原鶴立体看板撤去、サンライズ杷木緞帳改修・駐車場区画線改修、杉の馬場桜治療
平成29年度	三連水車駐車場災害復旧、川の駅原鶴楠整枝・堆積土砂撤去、サンライズ杷木照明器具改修
平成30年度	杉の馬場風倒木撤去・桜消毒、サンライズ杷木玄関ドア改修 川の駅原鶴堆積土砂撤去
令和元年度	川の駅原鶴パークゴルフ場災害復旧工事、サンライズ杷木ホワイエ空調設備改修工事、観光案内所ほとめく館屋根改修工事、鶴飼公園藤棚撤去工事

### 4-2 観光関連施設の整備

#### 観光関連施設の整備

観光客の誘致のため必要な施設の整備を行いました。

#### 観光施設の整備状況

実施年度	主な取り組み内容
平成20年度	川の駅原鶴パークゴルフ場コース増設
平成22年度	道の駅原鶴ファームステーションバサロ前大屋根設置
平成23年度	秋月駐車場トイレ設置
平成24年度	原鶴水辺広場整備
平成27年度	秋月駐車場案内看板設置



道の駅原鶴バスロ前大屋根



秋月駐車場トイレ

### 4-3 交通環境の整備

#### 観光ルートの整備・検討

観光ルートの整備については、余り対応ができていません。ただ、バスツアー等への対応を、福岡県や民間企業と連携しながら検討を進めてきました。

#### バスツアーへの対応

実施年度	主な取組み内容
平成 27 年度	バス代助成事業を実施（地方創生事業）・・・旅行会社・バス会社等に対し、市内宿泊ツアーを催行した場合、バス代の一部を助成する事業（10/1～3/15）；ツアー企画 32 本（新規 28 本）、バス台数 127 台（約 4,000 人）
平成 29 年度	モニターツアー*（2/24、3/3、3/4）を朝倉地域広域連携プロジェクトにて実施
平成 30 年度	モニターツアー（11/29、3/2、3/9）を朝倉地域広域連携プロジェクトにて実施
令和元年度	株式会社読売旅行と連携し、バスツアー「朝倉みず物語」を実施（6/23、6/29 約 160 人）

\*モニターツアー：主催団体が旅行費用を一部負担する代わりに、参加者に旅行内容を調査報告してもらうツアー。

#### サイクリングロードの整備

平成 28 年度以降、筑前町や東峰村と連携しながら、サイクリストに向けた事業を行いました。また、サイクリングコースの提案等を県や民間団体と連携しながら提案してきました。

#### ●サイクリングイベント（前出）

#### ●九州一周コースの検討

朝倉市を拠点とした九州一周コースの検討を行っており、平成 29・30 年度には試走も実施しました。

## 項目5 観光振興の体制づくり

### 5-1 地域間ネットワークの形成

#### スタンプラリー

市内各地域に点在する観光拠点を回遊させるきっかけづくりとして事業を行いました。主に3件のスタンプラリーを開催しました。

「コスモス電車スタンプラリー」は甘木鉄道や西鉄甘木線の乗車率向上と、沿線沿いの観光スポット・イベントへの集客を狙い、沿線自治体（久留米市・小郡市・朝倉市）連携で実施しました。「古都・秋月雛めぐりスタンプラリー」は前出のとおり秋月の閑散期に賑わいを創出することを主な目的として実施し、秋月城跡での野外雛展示の他、城下町の各店舗への誘導を狙って開催しました。「秋月博物館開館記念 秋月スタンプラリー」は秋月博物館開館に合わせて、城下町全体の賑わいを創出することを目的に開催しました。

#### コスモス電車スタンプラリーの開催状況

実施年月	応募者数
平成27年度（10/1～11/15）	67人
平成28年度（8/18～11/30）	136人
平成29年度（9/23～11/30）	132人

#### 古都・秋月雛めぐりスタンプラリーの開催状況

実施年月	参加店舗等	応募者数
平成27年度（2/3～3/3）	18店	120人
平成28年度（2/1～3/5）	18店	302人
平成29年度（2/1～3/4）	20店	167人
平成30年度（2/1～3/3）	24店	167人

#### 秋月博物館開館記念 秋月スタンプラリーの開催状況

実施年月	参加店舗等	応募者数
平成29年度（10/23～1/31）	店舗17店、社寺6ヶ所	172人

「コスモス電車スタンプラリー」は余り乗車率向上に結び付かず、また応募者数も伸び悩んだことから、効果が薄いと判断し中止しました。

「古都・秋月雛めぐりスタンプラリー」は参加店舗も徐々に増加しており、また来訪者も多くみられることから、企画を工夫しながら継続したいと考えています。

## 5-2 広域連携の推進

### 朝倉地域広域観光プロジェクト

福岡県、朝倉市、筑前町、東峰村で構成され、平成 26 年度以降、観光分野をテーマに事業展開してきました。

#### 朝倉地域広域観光プロジェクトにおける取組み

実施年度	主な取組み内容
平成 26 年度	住民ディレクター養成講座、SNS 講座
平成 27 年度	「ふらっと！あさくら」制作協力
平成 28 年度	「あさくら観光かわら版」制作
平成 29 年度	「あさくら観光かわら版」更新 モニターツアー実施 (2/24、3/3、3/4)
平成 30 年度	「あさくら観光かわら版」更新、 モニターツアー実施 (11/29、3/2、3/9)

平成 26 年度開催の住民ディレクター養成講座から、各自が取材していく人材が育っており、「あさくら観光かわら版」への投稿など、取材から情報発信までを個々人で行うといった広がりはできてきていると考えられます。今後は、発信した情報をより多くの人に見てもらうための工夫が必要です。

### 朝倉広域観光担当者連絡会

この連絡会は、平成 26 年度に朝倉市、筑前町、東峰村の観光担当部局で設立しました。平成 28 年度以降、あさくら観光協会に観光宣伝業務を委託しました。

主な委託事業としては、「あさくらサイクルタウンプロジェクト（あさくらサイクルフェスティバル（前出）などのイベントを実施）」や、「筑前朝倉蒸し雑煮プロジェクト（前出）」等が挙げられます。

### 朝倉・嘉麻広域観光協議会

八丁トンネル開通後の交流人口の拡大を狙い、平成 28 年度から嘉麻市と連携協議を開始、平成 29 年度に協議会を設立しました。

「江川岳」の命名事業や、八丁トンネル開通イベントなど、従来の郡域を越えた取り組みができ、両市への誘客など徐々に効果が表れてきていると考えられます。

#### 朝倉・嘉麻広域観光協議会における取組み

実施年度	主な取組み内容
平成 29 年度	古処連山の無名峰への命名事業・・・応募総数 1,244 件 「江川岳」に決定、「山歩き満喫マップ」の作成
平成 30 年度	江川岳標柱設置、江川岳登山証明書発行、国土地理院への申請、登録、夏山フェスタへの共同出展 (6/23～24)
令和元年度	江川岳周知事業、夏山フェスタへの共同出展 (6/22～23)、八丁トンネル開通直前イベント (10/22、参加者 322 人)



「江川岳」発表イベント



八丁トンネル開通直前イベント

### 5-3 関係諸団体との連携体制の構築

#### あさくら祭り

平成 29 年の豪雨災害を受けて、市と筑前あさくら農業協同組合、朝倉商工会議所、朝倉市商工会が連携して、平成 30 年 11 月、「がんばろう！あさくら祭り」を開催しました。

この祭りを契機に、日本航空株式会社との連携も始まっています。具体的には、JAL 空飛ぶネギ大会の開催、LoveFM JAL 提供番組「九州歴史回廊」への出演(12/9, 12/16)、読売旅行 バスツアー「朝倉みず物語」(前出)、アユタヤ駅伝大会 JAL、JA、RKB との連携(前出)、タイ アユタヤ市の駅伝大会で柿の試食などが実現しました。

#### ONSEN ガストロノミー\*

ONSEN ガストロノミーツーリズム推進機構(ANA 総研)主催の下、福岡ブライダル&ホテル・観光専門学校と市とが連携して実施しました。

平成 30 年 12 月 参加者数約 200 人

\* ガストロノミーは原鶴温泉を発着地に約 7km を歩き、休憩ポイントで地元の食材を食していくイベント。



ONSEN ガストロノミー



九州探検隊マルシェ

### **九州探検隊アンバサダー\***

博多大丸が展開する九州探検隊プロジェクトとして平成 30 年 8 月、博多大丸と朝倉市がアンバサダー協定を締結しました。

この取組みにより、九州探検隊マルシェの開催（平成 30 年 10 月 2 店舗出店）や、お歳暮カタログへの商品掲載（平成 30 年 11 月 市内 8 店舗）が実現しました。

**\*九州探検隊アンバサダー**：九州探検隊は博多大丸が九州 119 市と協力して、情報を収集・発掘する事業。アンバサダーは大使の意で、朝倉市が博多大丸を九州探検隊アンバサダーとして認定し、連携して事業を実施。

平成 20 年度からの約 10 年間、具体的な取組みとしての 5 項目に対し、種々の事業を行ってきました。個別の事業としては、それぞれ一定成果が認められ、マスコミ等へのリリース件数やホームページへのアクセス件数など、大きく数値を伸ばしている状況が窺えます。その効果は、観光入込客数の 22 万人増という成果に寄与してはいますが、目標数値の 350 万人の達成には至りませんでした。

平成 29 年・30 年の豪雨災害も含めて、朝倉市の認知度が向上していることは確実であり、あと一步の工夫として、朝倉市を訪れるきっかけ作り、情報の提供が必要と考えられます。



蒸し雑煮

## 4. 朝倉市の課題

朝倉市は、観光資源が数多く点在していますが、各地域のつながりやネットワーク、他の観光地との差別化、個人観光客への対応が不十分な状況です。また、マスクミ等への情報発信件数は増加しているものの、多様化する情報発信ツールを十分に活用できておらず、それぞれの観光資源を有する地域において、観光入込客数の伸び悩みが生じています。

さらに、市内の観光地やイベント、祭りを発信する広告や宣伝PR、プロモーション活動を行うにあたり、朝倉市の魅力を十分に伝え広めている状況とは言い難く、発信力の強化が求められます。

近年では、少子高齢化や人口減少の進展、地方創生の推進、自然災害の増加など、市を取り巻く環境は大きく変化しており、新たな課題が生じています。ライフスタイルの多様化と社会の急速なデジタル化により、旅行のスタイルも変化しており、団体中心の旅行から個人旅行へと移行しています。

このような個人旅行者は、目的やシーンにより旅行の行程を変える傾向にあり、様々な観光資源を有する朝倉市にとっては、観光客を呼び込むチャンスとも言えます。また、SNSの発達により、旅行の行先等を検討する際にインフルエンサー\*や友人等からの得られた情報を参考とする傾向があります。このことから、訪れる観光客に対して、朝倉市全体で居心地が良く、また訪れたいくなるようなおもてなしをするという雰囲気づくりを行い、観光客の満足度を上げることが重要となります。



初夏の秋月



蜷城おくんち



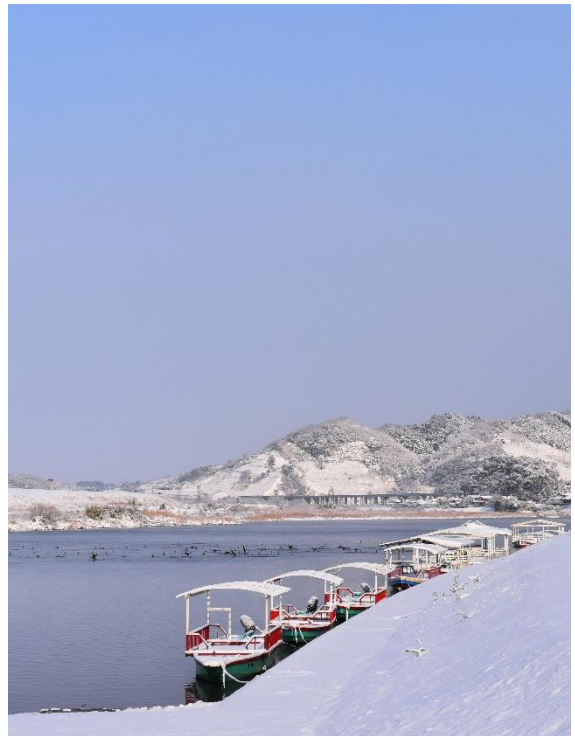
また、市が管理する観光施設についても、老朽化した施設の補修や更新が課題となっています。費用の問題だけでなく、将来を見通した事業の選択について、議論を深めていくことが重要です。

このように多くの課題を抱える中、これらに対処すべき専門的な知識や技術を有した人材が不足しており、観光振興事業を行う際には、外部からの人材登用及び育成や、あさくら観光協会（以下、「観光協会」という。）を始めとする民間事業者・ボランティアとの連携による補完が必要となっています。

さらに、実際に市内にいることでは気づかない魅力を発見、発信し、ブラッシュアップ\*していくことが重要となります。

\*インフルエンサー：世間に大きな影響を与える行動や発言を行う人。

\*ブラッシュアップ：本来持っている能力などをさらに磨き上げること。



雪の筑後川

## 5. 朝倉市観光振興指針の基本方針

現状分析及び課題を踏まえ、情報発信による PR を充実させることで、朝倉ブランドイメージの創出と知名度の向上、市内外からの滞在人口、交流人口や関係人口の増加を目指します。また、観光施設や観光推進体制を整備し、観光資源の魅力を高める必要があります。そのために、次の4つの基本方針を柱とし、総合計画においても重点分野に設定している『観光PRの充実』を中心に、観光の振興に取り組めます。

### (1) テーマの設定

令和2年度から5年度までの期間において、観光振興に取り組む姿勢を端的に表現するテーマとして以下のように設定します。



アサクララ  
明日、あさって、朝倉へ。

\*このロゴマークは、平成30年度九州経済産業局との連携事業の中で設定したものです。

五線譜は、朝倉の「秋月・甘木・朝倉・原鶴・杷木」5エリアと、右肩上がりで気軽さ・楽しさを表し、音符には朝倉市復興計画のビジョン『山・水・土、ともに生きる朝倉』から三つの色を、そしてさりげなく行動を促すやさしいことばで、「うたうように、くちずさむように、ふらっと気軽に」朝倉を訪れてほしいという思いを込めました。

### (2) ターゲットの設定

市内外からの滞在人口、交流人口や関係人口の増加を目指すためには、新たな客層の取り込みと宿泊客の増加を狙っていく必要があります。新たな客層としては、観光客の年齢構成比からみても、若い世代特に20代～30代の女性、ファミリー層を取り込み、将来にわたってリピーターとなるような仕掛けづくりが必要と考えられます。

また宿泊客の増加を狙う場合、国内だけでは大きな増加は望めないことから、海外からの観光客（インバウンド）を誘致することが併せて必要となります。この場合、全方位的な対応は物理的に不可能なので、重点的に情報を発信する国・地域の絞り込みを行います。



近隣のアジア圏では、当市が取り組むサイクリング事業を発信することで、来訪者増が期待できる国・地域として、サイクリングが盛んな台湾が挙げられます。さらに、長期滞在型の旅行者が多い欧米豪についても、日本的な景観や文化を好む傾向があり、朝倉市が持つ自然景観や農村風景、そこから派生する日本的な文化といった観光資源が有効に利用できる可能性が高いことから、ターゲットとして設定します。

### (3) 基本方針

#### ①観光PRの充実

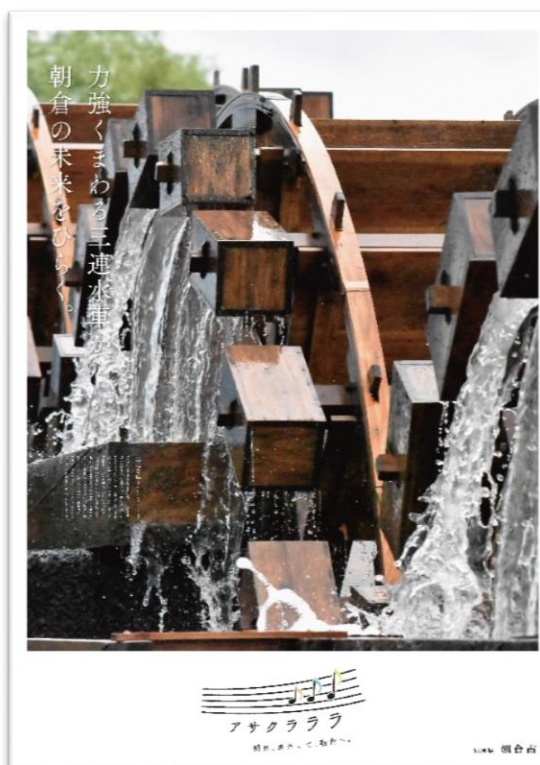
市内外の多くの人に、効率的、効果的運営を通じた観光地の情報を発信し、朝倉市の魅力を知ってもらい、イメージアップを図ります。その方法として、SNSやインターネットを活用した情報発信の他に、マスメディアに対しイベントの告知や季節の情報等を提供し、より多角的、広範囲の情報発信に努めます。

また、観光協会や市内団体との連携による情報発信に努め、リリース件数の増加と併せて、採用（掲載）件数の増加を目指します。

#### ②観光推進体制の充実

市からの委託費だけに頼らない観光協会の自立を促し、将来的には自主基盤による運営が可能となるような取組みへ誘導していくことが必要です。そのため、基盤となる会員の増加は不可欠であり、新規会員獲得に向けた取組みを行うように促します。併せて、会費以外の収益事業としての商品開発なども支援していく必要があります。

また、朝倉市への来訪者及び来訪見込者に対し、おもてなしや魅力的な観光サービスの充実を図り、朝倉市の良さを知ってもらうことで、朝倉市のファンを増やし、観



光入込客の増加に努めます。

さらに、近隣の自治体とも連携してイベント実施や、おもてなし環境の共有を図ることで、広域での観光推進体制の強化・充実に結び付け、朝倉市を中心とした広域での魅力向上に努めていきます。

### ③観光資源の充実

現在、通信ネットワークの多様化により様々な方法で、情報の入手が可能となり、文化や価値観の違う海外からの旅行者も増えてきています。

そこで、観光客のニーズに合わせて、従来の観光資源の他、新たな資源を発掘し、新旧の資源を効果的に結び付けて、市内の周遊を促します。国内では都市圏から、さらには海外からの旅行者を1度ではなく何度も訪れたいくなるような、リピーターの獲得につながるよう、多彩な観光資源の充実を図ります。

### ④観光施設の充実

観光施設の老朽化に伴う不具合が増加していることから、計画的な維持補修を行っていきます。また、新たな施設・設備の充実を行うことで、利用者の利便性、地域の魅力を増やすとともに、適切な維持管理を図ります。



## 6. 重点プロジェクト

基本方針を基に、令和2年度から5年度までの期間において、観光部署が重点的に取り組むプロジェクトを以下の通り設定します。

### (1) 観光コンシェルジュ\*プロジェクト

#### 具体的 方針

観光情報の発信力を高めるため、併せて体制の充実も図るため、多言語を活用出来る人材を探し、育成・登用していきます。

人材の確保に当たっては、あさくら観光協会及び原鶴温泉旅館協同組合と連携して行い、それぞれの窓口に配置し、主にインバウンド（外国人旅行者）を対象に、接客及びSNS等による観光情報発信を行い、朝倉市のおもてなしの幅を広げます。

### (2) サイクルタウンプロジェクト

#### 具体的 方針

点在する観光資源をつなぐ役割として自転車に着目し、自転車を活用したまちおこしを行うため、核となる人材を探し、育成・登用していきます。

人材の確保に当たっては、あさくら観光協会及び原鶴温泉旅館協同組合と連携して行い、あさくら観光協会に事業委託を行っているサイクリング事業に従事させ、サイクリストの受け入れ環境を整え、市内を走る自転車人口の拡大を目指します。



### (3) 新たな名物づくり開発プロジェクト

#### 具体的 方針

「朝倉市」というブランドの向上を目指し、既存の観光資源のブラッシュアップや、新たな観光資源の発掘、商品開発のため、市内の事業者と連携し、観光資源を増やす取組みを模索していきます。

具体的には、「筑前朝倉蒸し雑煮」、「3つのダム（小石原川・江川・寺内ダム）」などの更なる認知度向上を行います。

### (4) 乙女の真心プロジェクト

#### 具体的 方針

コスモスの花言葉「乙女の真心」を冠した事業に取り組めます。

観光客が多く来訪するキリンビールコスモスフェスタにあわせ、市内を周遊する仕組みづくりとして始めたスタンプラリーを継続します。

また、コスモスドレッシングの販路拡大を狙います。

### (5) コト消費\*環境整備プロジェクト

#### 具体的 方針

設定したターゲットにスポットを当てたイベントや体験、アウトドア、宿泊（民泊含む）の環境整備や受け入れ体制の構築を行います。また、管理施設の現状を把握し、コスト削減及び整理を行います。

- \* コンシェルジュ：一般的にはホテルの職種の一つ。宿泊客のあらゆる相談や要望に応えるいわば「よろず係」。近年では、ホテル以外の観光案内所や駅でも、同様のサービスを行う者に対して使われることがある。
- \* コト消費：所有のためではなく、趣味や行楽、演芸の鑑賞などで得られる特別な時間や体験、サービスや人間関係に重きを置いてお金を使う消費行為のこと。



## 7. 計画の推進

この指針に基づき、朝倉市の観光振興を進めていくためには、方針・計画の策定（Plan）・実施（Do）の後、効果検証（Check）を行い、改善策の検討・展開（Action）というPDCAサイクルを確立し、展開することが重要です。特に効果検証（Check）や改善策の検討・展開（Action）に当たっては、市民や来訪者の視点も踏まえながら、計画の進捗状況を把握するものとします。

行政内部では、観光担当部署を中心に庁内の幅広い関係部署との連携体制を築き、協力しながら本計画の推進を図ります。

また、重点プロジェクトなど、観光振興にあたって特に優先度・重要度の高い取り組みを進めていく際には、必要に応じて関係部署合同のプロジェクト推進チーム等の組織化を図り、横の連携をより強固にした推進体制で事業の遂行にあたります。

